



吉田 裕幸 議員

いっばん

問 新幹線駅正面歩道にシェルター設置を

答 当初から設置計画の予定はない ——— 町長



富良野駅舎前に設置されている
雨よけシェルター

質 問 新幹線駅の正面になる北側アクセス道路歩道には、シェルターの設置が計画されていますか。

担当課の説明では、「メーター当たり80万円の建設費がかかるため、実施設計に盛り込むことはできない。」とのことでした。シェルターは住民要望も多く、構造を町有林を活用した杉材等にした場合、耐久性は劣りますが、鉄骨構造より安価な工事費で済むと考えています。山崎1号線から駅まで、全ての歩道に設置する場合は、車から降りて駅まで誘導する部分だけでも

ということが考えられま

す。
南側へ人を誘導したいという行政の考えはわかりますが、新幹線駅の正面となる北側は駐車場の

みで何もありません。

新幹線駅の正面として最低限必要なものだと考えますが、町長の見解を伺います。

大森町長 北側アクセス道路は南側の駅前広場と異なり、駅の出入り口として、全てが車の乗り降りということを想定して考えています。

北口の駐車場は、主に家用車の駐車ということから、当初からシェル

ターの設置についての計画はないため、シェルターを設置する予定はありません。

南側は、バス停やタクシープールということが予定されているため現在、事業者である北海道に対してシェルターの設置を強く要望しているところです。

再質問 町長は、「設置しない。」と言い切っています。町長が唱える福祉都市・高齢者福祉を考えれば、雨や雪が降った場合、駐車場から駅までの間は必要だと思います。

今後、住民要望が出た場合、再考の余地があるのか伺います。

大森町長 北口の歩道は、南口と違い狭い歩道を計画しており、冬場の雪や除雪の支障になるということも考えられます。当初から、駐車場利用者に対し、シェルターの設置は必要ないと判断していました。設置に向けた明確な理由もないことから、再考する予定はありません。

再質問 駅周辺整備計画の中で、エスカレーター設置は、福祉都市きこない、そして新幹線を核としたまちづくりの中で、大変重要なものとして認識しています。

木古内町のみならず、松前町・福島町・知内町そして上ノ国町など、広域観光を進める上で、この駅が集まって来る人口を考えれば、エスカレーター設置は絶対必要だと考えます。

12月中には結論を出すという答弁で期待をしていますが今後、数団体から要望書が提出されるといふことも聞いており、行政の中で十分審議した中で町長自らがリーダーシップを発揮して結論を出してほしいと思いますがいかがでしょうか。

大森町長 年内を目処に結論を出すということで、前向きな姿勢であることをご理解ください。
今後、財源の捻出について十分協議していきたいと思っています。